

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
24	1				患者基本情報入力
24	1	1			患者番号、患者氏名、患者が、性別、年齢、入外区分、病棟、診療科による患者検索が行えること。
24	1	2			患者情報を世代で管理できること。
24	1	3			原因疾患名、発症日を選択して入力できること。
24	1	4			手術名、手術日を選択して入力できること。
24	1	5			障害名を選択して入力できること。
24	1	6			療法種毎に処方療法、加算・指導項目・訓練項目を選択して入力できること。
24	1	7			発症日、手術日とは別枠で、疾患別に起算日を設定できること。
24	1	8			処方療法毎に算定可能日の表示ができること。
24	1	9			既往歴、現病歴、合併症、感染症の入力ができること。
24	1	10			患者の郵便番号、住所、電話番号の入力ができること。
24	1	11			面会有無、氏名呼び出し有無の選択ができること。
24	1	12			職種毎に転滞情報の入力ができること。
24	1	13			患者毎に1週間のリハビリ予定を登録できること。
24	1	14			医事システムから患者属性が取り込めること。
24	1	15			職種単位に主治医、指示医、診療科を登録できること。
24	1	16			患者単位に診療科を4つまで登録できること。
24	1	17			患者単位に保険情報を5つまで登録できること。
24	2				患者検索
24	2	1			以下の条件で患者検索が可能なこと。 ・担当療法士・診療科・年齢（範囲指定）・性別・住所（前方一致、後方一致、完全一致、部分一致の全てが可能） ・患者力ナ名称（前方一致、後方一致、完全一致、部分一致の全てが可能）・患者病名（2病名まで指定可） ・患者手術（2手術まで指定可）等
24	2	2			検索結果は印刷プレビュー、またはCSV出力可能なこと
24	2	3			検索結果はExcel形式で保存可能なこと。
24	2	4			検索結果はCSV形式で保存可能なこと。
24	3				スケジュール登録
24	3	1			療法士別に1週間の予約を表示、登録できること。
24	3	2			療法種毎に全療法士の予約を表示、登録できること。
24	3	3			予約状況の表示について、表示開始時刻指定、表示終了時刻指定ができること。
24	3	4			表示している療法士が担当している患者のみを選択できること。
24	3	5			療法士の勤怠（全休、AM休、PM休、時間休）を登録できること。
24	3	6			日別に単位数を表示できること。また、24単位を超える場合は強調表示されること。
24	3	7			週毎の合計単位数を表示できること。また、108単位を超える場合は強調表示されること。
24	3	8			心大血管疾患リハIを行う患者については同時間に複数人の登録ができること。
24	3	9			患者基本情報入力で登録したリハビリ予定に基づき、予約を一括で登録できること。
24	3	10			登録した予約をドラッグ&ドロップ操作で調整できること。
24	3	11			患者毎に登録した情報を一覧で表示できること。
24	3	12			曜日指定で予約を一括登録できること。
24	3	13			週単位での予約複写ができること。
24	3	14			登録した予約を一覧で印刷できること。
24	3	15			登録した予約をExcel形式で保存できること。
24	4				受付実施
24	4	1			予約時間、担当療法士、実施状況、療法種、担当者、患者番号、患者氏名、入外区分、病棟、依頼科で絞り込み表示ができること。
24	4	2			対象日の予約状況を療法士別に表示できること。
24	4	3			名前呼び出し有無、面会有無が表示できること。
24	4	4			表示している予約状況一覧で予約の変更ができること。
24	4	5			表示している予約を一覧で印刷できること。
24	4	6			表示している予約をExcel形式で保存できること。
24	4	7			予約一覧から任意の予約を選択し、患者基本情報入力で登録した情報を元に実施情報を作成できること
24	4	8			日別に単位数を表示できること。また、24単位を超える場合は強調表示されること。
24	4	9			絞り込み表示内容の算定合計単位数、未算定合計単位数、合計単位数が表示されること。
24	5				リハビリ実施情報入力
24	5	1			患者番号、患者氏名、患者が、性別、年齢、入外区分、病棟、担当療法士、診療科による患者検索が行えること。
24	5	2			世代で管理している過去の履歴の実施情報を表示できること。
24	5	3			担当療法士、実施日、実施時間、患者番号、患者氏名、患者が、入外区分、病棟、実施状況による実施情報検索が行えること。
24	5	4			実施日時、単位数、療法種を患者毎に履歴で表示できること。
24	5	5			履歴を選択することで対象日時の実施情報を表示できること。
24	5	6			履歴にある実施情報を新規実施情報に複写できること。
24	5	7			患者の1日当たりの単位数を表示できること。また、6単位（厚生労働大臣指定患者の場合は9単位）を超える場合はエラーメッセージを表示すること。
24	5	8			担当療法士の1日当たりの単位数を表示できること。また、24単位を超える場合はエラーメッセージを表示すること。
24	5	9			担当療法士の1週間当たりの単位数を表示できること。また、108単位を超える場合はエラーメッセージを表示すること。
24	5	10			連続開始日以降に疾患別リハを登録しようとした場合にエラーメッセージを表示すること。
24	5	11			算定可能上限日を超える処方療法を登録しようとした場合にエラーメッセージを表示すること。
24	5	12			日、週、月、リハビリ中に制限回数がある項目については、制限回数を超えた場合にエラーメッセージを表示すること。
24	5	13			入力した実施時間により、自動的に単位数が設定されること。
24	5	14			リハビリテーション総合実施計画書の作成状況を表示できること。
24	5	15			外来患者を実施登録した時点で自動的に、リハビリテーション診療箋が発行されること。
24	6				計画書作成
24	6	1			Excelファイルのテンプレートを元に作成できること。
24	6	2			元となるテンプレートは容易に変更、追加ができること。
24	6	3			前回作成した計画書を複製できること。
24	6	4			測定した機能評価（FIM、Barthel Index）の結果を計画書に反映できること。
24	7				リハカルテ印刷

24	7	1		期間を指定して、カルテ形式で実施情報を印刷できること。
24	7	2		Excel形式で保存できること。
24	7	3		診療箋の印刷ができること。
24	8			評価結果入力
24	8	1		患者を選択し、評価表（SIAS,MMS,MMT,ROM-T,FIM,バーバール指数,WAIS-R）作成ができること。
24	8	2		測定日、測定評価項目を履歴で表示できること。
24	8	3		測定結果を印刷できること。
24	8	4		入力した測定結果をグラフで表示できること。また、過去の履歴を選択することにより、複数の結果を同時に表示できること。
24	8	5		表示したグラフを印刷できること。
24	9			統計業務
24	9	1		日報、月報、年報の各帳票が印刷可能なこと。 （未実施患者一覧、総合実施予定計画表、患者別実施一覧、月間リハビリ処置一覧、業務月報、療法別業務報告、月間患者実施記録等）
24	9	2		各帳票をExcel形式で保存できること。
24	9	3		以下の帳票を有すること。帳票出力またはデータ出力が行えること。 ・実績表・療法別集計表・診療科別患者数集計表・患者出欠表・終了患者一覧表・療法士別人数集計表・療法別人数集計表・診療実日数表・単位数チェック表・運減開始患者一覧・実施表・療法士別担当患者一覧表・新患台帳・今週のリハビリ・入院患者一覧・リハ総合実施計画対象患者一覧
24	10			マスタメンテナンス業務
24	10	1		各種マスタの修正ができること。
24	10	2		CSVファイルに出力できること。
24	11			パスワード登録
24	11	1		ユーザ単位にパスワードの登録が可能なこと。
24	11	2		ユーザ単位に患者登録業務、予約登録業務、受付実施業務、実施登録業務、統計業務の使用可否設定が可能なこと。